

# 6月議会

## 浦安市議会から国へ意見書を！ 緊急課題！保育改善の意見書を否決

週刊  
市議会報告  
日本共産党

2016年7月11日

第1376号

【発行】  
日本共産党  
浦安市議団  
☎ & F A X  
350-1243



市議会議員  
元木美奈子

入船 4-37-14  
☎ 355-8526  
minamotonton@  
jcom.home.ne.jp



市議会議員  
美勢麻里

北栄 2-3-16-20  
☎ 354-9269  
m5mise@jcom.  
home.ne.jp



6月議会最終日の6月30日、日本共産党は保育関連の2本の意見書を発議提案致しましたが、いずれも否決されました。

6月議会に提案した「公立保育所の一般財源化を廃止し、直接補助制度に戻すことを求める意見書」と「保育士不足の解消へ向けて大幅な処遇改善を求める意見書」は、待機児童、保育士不足、保育施設不足の解消など、浦安市内でも早急に解消しなければならぬ問題です。

### 民間活力の大号令で 公立保育園激減

1980年当初に財界を中心とした臨時行革で、福祉などを民間活力の活用と国民の自助努力に委ねることを国会を通さずに決定しています。

その結果、公立保育所の運営費・整備費についての国の費用負担は8割から7割・5割へと削減され、負担金から補助金・交付金へと改悪し、更に2004年から一般財源化され、企業参入も容認し、公立保育所の廃止や民営化が進められ、減少の一途をたどっています。

### 「保育園落ちたの私だ」

今問題となっている保育園待機児は、認可保育所が決定的に足りないことや、保育士の労働条件が劣悪なため保育士が不足していることが根本的要因ですが、これを解決するために、まずは、直接補助制度に戻すことが必要です。

ところが安倍政権の対策はこの根本解決に背を向けて、いっそうの規制緩和と詰め込み、保育内容の切り下げを行うというもので、公的

責任を放棄するものです。

子どもの発達・成長の権利を保障することや、保護者が安心して預けられる保育所を希望することは当然の願いです。この願いに向き合うことなしに問題は解決しません。

### 保育士処遇改善 給与引き上げを

保育士は専門性が問われていますが、今の職員配置基準では保育士が十分な休暇や休憩を取れず、疲労が回復できない状況となっています。

給与は全産業平均(33万円)より約10万円も低く、保育士も、子育てしながら働き続けることが困難であり、奨学金も返せない、辞めていく現状があります。

賃金を全産業の平均にすることや実態に見合う職員配置基準を実現し、保育士不足の解消が急務となっています。

意見書採決結果：賛成少数で否決

賛成	日本共産党：元木美奈子 美勢麻里 無党派：広瀬明子
反対	公明党：秋葉要 中村理香子 一瀬健二／自由民主党・無所属クラブ：深作勇 岡本善徳 宝新 西川嘉純 辻田明 宮坂奈緒／かがやき：末益隆志 小林章宏 毎田潤子／市民の会：西山幸男 水野実／徳風会：岡野純子 吉村啓治／無党派：柳毅一郎 折本ひとみ

